令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４-010

プロジェクト名　三軒茶屋キャンパス図書館リノベーションプロジェクト

プロジェクトの概要

本プロジェクトは利用者が少なく三軒茶屋キャンパス図書館を、「地域の方と繋がれるオープンな図書館づくりを」という思いから、学生にも地域の方にもより良い“新たな図書館”とすることを目的としている。今年度は様々な取り組みにより地域に開かれている図書館を見学・分析を行い、三茶図書館の方針を定めた。加えて、取り入れたいプログラムを選定し、スローガンや提案内容を検討した。

プロジェクトの結果・成果

今年度は、図書館見学とその分析、コンセプト決め、提案内容の検討を行った。まず、三茶図書館の現状を把握し、課題として「利用者数の少なさ」や「閲覧スペースやコミール（漫画コーナー）などの図書館空間が均質で創造的でないこと」が挙げられた。そこで、新たな取り組みにより活発に利用されている他の図書館（武蔵野プレイス、多摩美術大学八王子図書館、渋谷　森の図書館）を見学した。本の陳列の仕方やゾーニング、街との接し方が新しく、本を借りる・読む場所としてだけでなく、本を通して子供からお年寄りまで地域の人々のよりどころとなるような空間づくりが見られた。

以上の課題や分析から、地域の人々と大学が交差する役割を果たす図書館として、「NI”CHI”DAI―知の交差点―」というスローガンを定め、以下の提案を行った。

・街に開かれたシステムの形成と１F スペースの充実化を図る

Ex.）学生や地域の人々から書籍リクエストを受け、オススメの本や感想を展示する

・コミーユ（漫画コーナー）に小上がりを設置し、よりリラックスできる空間とする

・閲覧スペースのゾーニングを行い、閲覧室の利用を促す

Ex）集中するスペースと複数人で作業するスペース、飲食 OK なスペースなど

・広報活動を行い、図書館利用を促す

・3F の教室を団体利用に貸し出すことで、学生や地域の人々の創造活動に寄与する

今年度は実現までは至らなかったため、来年度は実際の運営や空間の提案を行い、図書館利用者の増加に努めたい。

活動写真

